

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	郡山市家庭教育支援チーム (呼称:のびのび子育てサポーター)
活動開始年度	平成5年度
活動拠点	郡山市立中央公民館
活動範囲	郡山市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (地域少子化対策強化交付金)
組織体制	子育てサポーター <u> 12 </u> 人
具体的な活動内容	<p>1 「のびのび子育て広場」の企画・運営 中央公民館和室を利用し、0 歳児とその母親が対象の「0 歳児広場」、入園前の子どもとその母親が対象の「入園前広場」を開催、参加者が主体となって活動でき、家庭教育力の向上、子育てネットワークの形成つながるよう企画・運営を行っている。</p> <p>2 「公民館スペース開放事業」 (1)「はやママサロン」の企画・運営 親子で自由に利用できる中央公民館託児室を利用し毎週水曜日の午前中にサロンの企画・運営を行っている。</p> <p>(2)地区・地域公民館へのサポーター派遣 公民館のスペース開放や子育て事業等にサポーターを派遣し、サロンの開催や事業の運営・企画や補助を行っている。</p>



活動を通して感じていること
(成果、課題など)

入園前などの小さな子を持つ母親は、一時、社会から遠ざかってしまうことがある、また、夫の転勤などがある為、一層孤立化してしまうことがある。

同じ世代の子を持つ母親が集まり、子どもと一緒に活動している「のびのび子育て広場」では母親が中心に活動できるよう企画・運営を行っており、広場を通して、家庭教育力の向上のほか、母親同士のネットワークが形成できる。サポーターも「近所の世話焼きおばさん」としてネットワークの中に参加している。

また、公民館開放事業も同様に母親や子どもの居心地がよい環境を作りを目指し、家庭教育力の向上や、親子の居場所作りに役立っている。

20年以上開催している「広場」は人気があり、毎年定員をオーバーしてしまっているため、会場の確保とともに、サポーターの育成が課題となっている。